

nomadogi



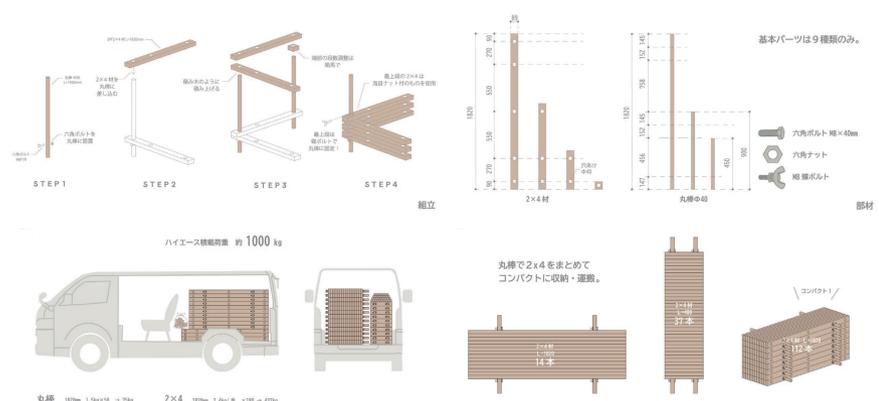
遊牧民のように 都市を漂う「ノマドギ」

イベントや様々な用途に使える木ユニットを開発しました。使い捨てではなく簡単に組み立て→解体→運搬できる気軽さにもかかわらず多様な場を作り出すことができます。

「ノマドギ」のデザインは、社会実験などのイベントにおいて、ローコストで多様な空間を作りたいという想いから出発しました。組立から運搬までが簡単にできることから、遊牧民のように転々と様々な場所で様々な形で利用されることを願っています。



流通材 2x4材を用いた 簡単な木ユニットです。



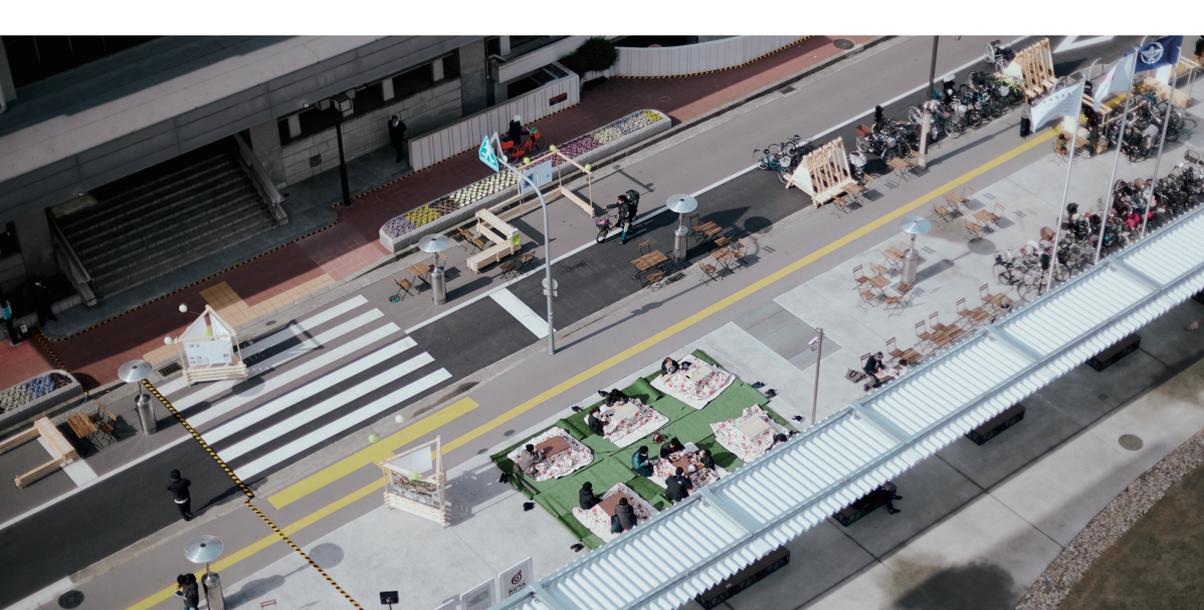
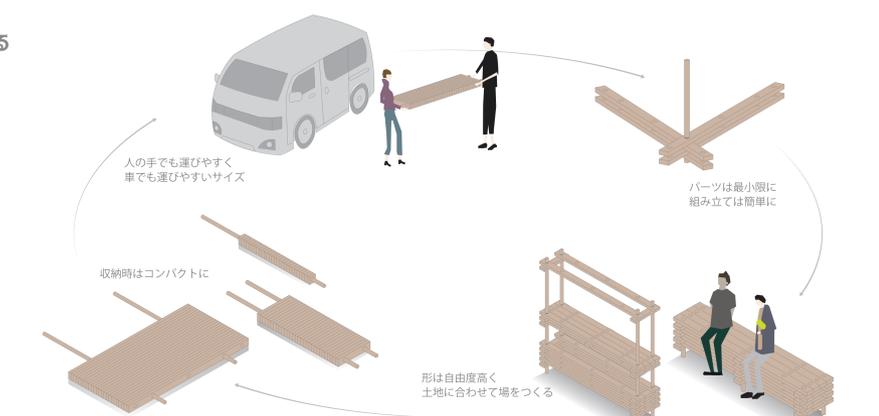
- 誰でも組立てられる
- 部材がシンプルで安価
- 組立→解体が簡単
- 収納もコンパクト

ノマディックなシステムで ノマドギ が都市を循環する

ノマド=遊牧民を指す言葉の通り、遊牧民のように、木材が都市を軽快に移動し、その土地の特徴に合わせて変化し馴染むことを目指しています。

私たちはこれらをノマディックなシステム（ディテール）として考案し、組立、解体、収納、移動にいたる全ての工程で効率的なソリューションでノマドギは出来ています。

大阪を中心に、様々な場所で組立→解体→移動を繰り返し都市を循環しながら、ノマドギは活用されています。



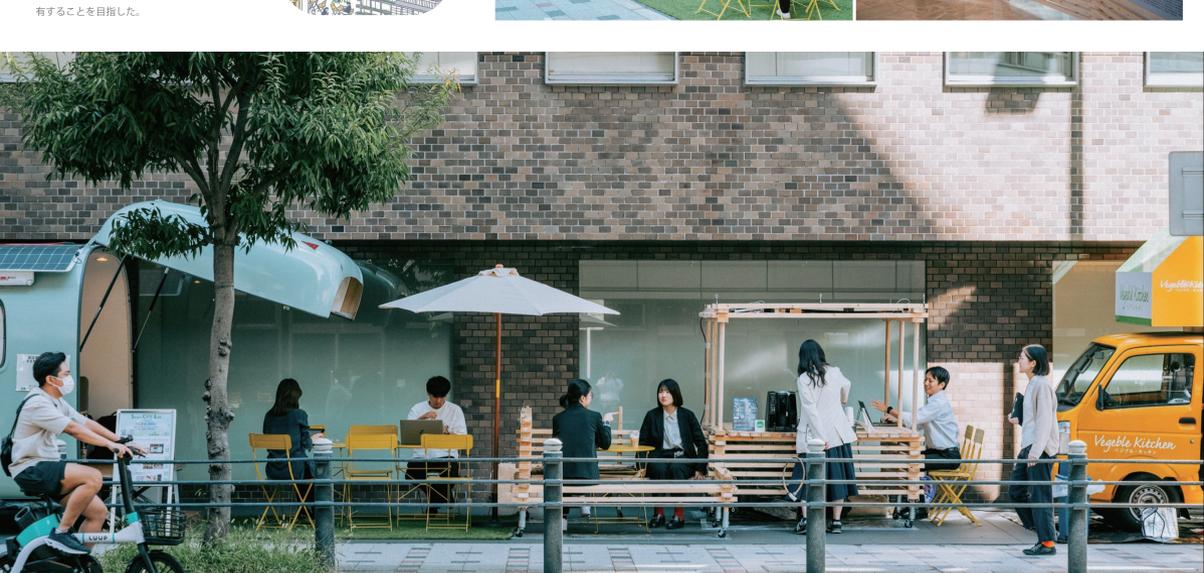
IBARAKI STREET ACTION

茨木市文化・子育て複合施設 おにくと茨木市役所間の道路の将来的な歩道化実現に向けた社会実験を茨木市と協業により実施した。車両通行止めを行い、歩行空間と滞在空間が入れ替わるようにノマドギを使ったブースを設けることで、みちと公園の要素が両立した「新しいみちの在り方」を模索した。



MIDOSUJI ACTION 2023

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2023の開催に合わせて御堂筋を中心にノマドギを点在させた。街角、ピロティ空間、御堂筋沿いの建築内などの都市のソーシャルスペースに、ノマドギによってつくられた展示スペースやベンチなどを創出し、魅力を顕在化した、地域市民と共有することを目標とした。



MIDOSUJI ACTION 2024

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2023に引き続き2年連続で開催となった。本町・淀屋橋界隈飲食店を営む事業者と協力し、ノマドギによってつくられた屋台や飲食スペースを創出した。キッチンカーと連携した飲食スペースを街角に創出し、可動型として都市空間に価値を持たせた。

